

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

気象研究所と防災科学技術研究所が行った、だいち衛星画像（JAXA 提供）の解析によると、28 日に東京大学地震研究所によって火口内に確認された直径数 10m の溶岩ドームが、30 日には直径 500 m 程度の大きさに成長しました。今後、爆発的噴火が発生した場合、溶岩ドームが破壊され、火口から概ね 3 km の範囲まで火砕流が流下する可能性があります。

そのため、31 日 01 時 35 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル 3（入山規制）を切り替えました。

新燃岳火口から概ね 3 km の範囲では、噴火に伴う火砕流に警戒が必要です。新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。

新燃岳周辺拡大図

解析：気象研究所

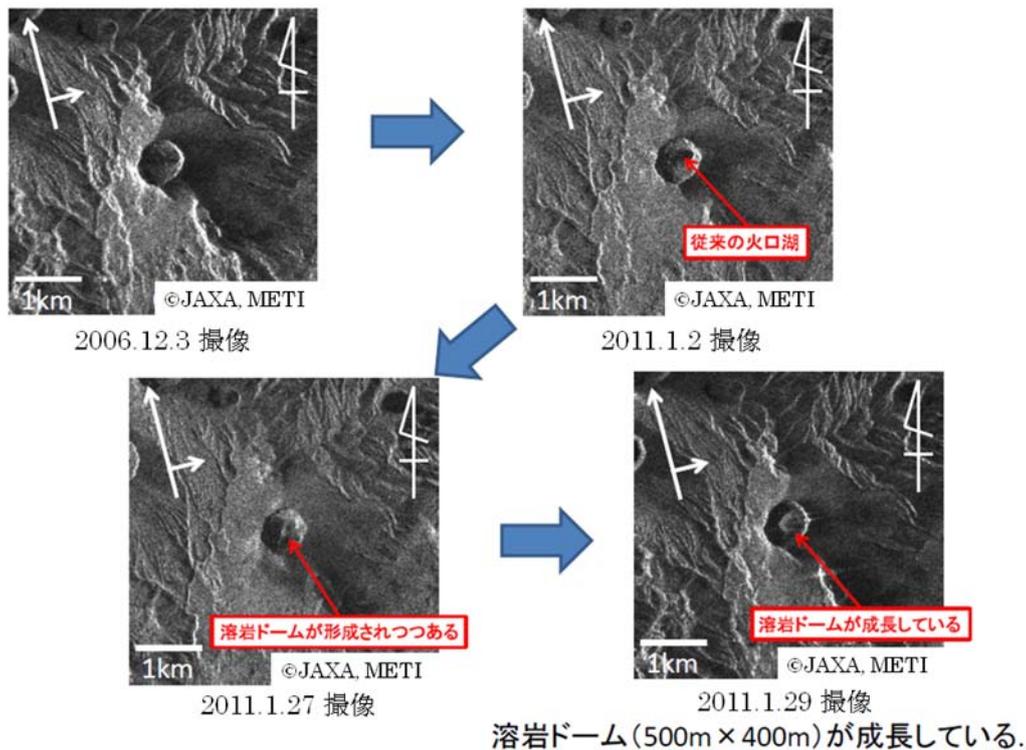
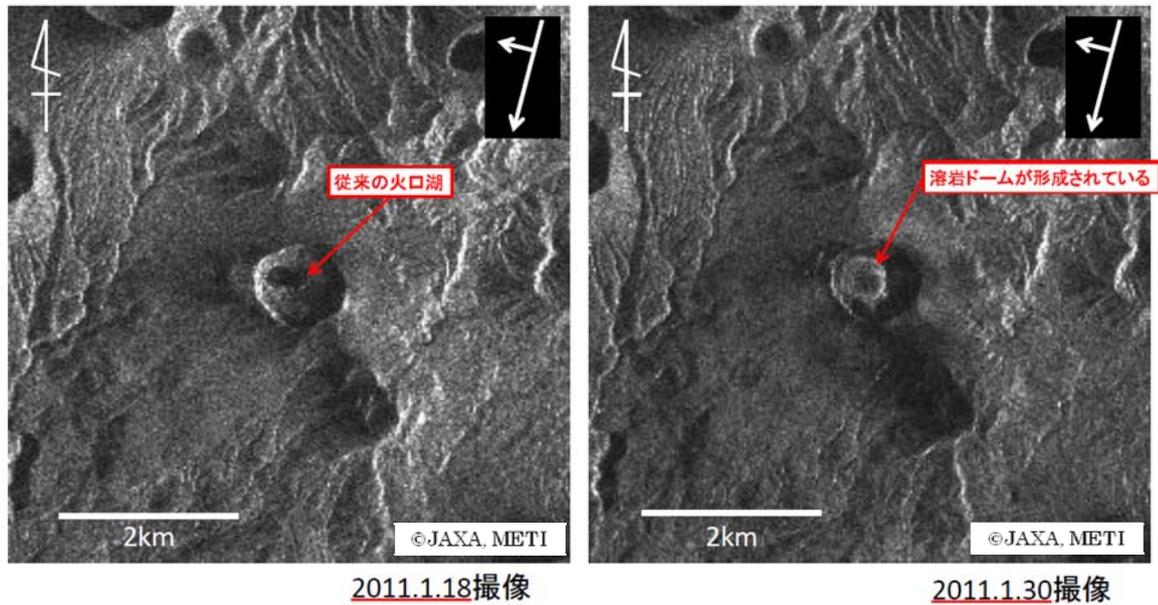


図 1 霧島山（新燃岳） だいち衛星画像（JAXA）の解析結果
火口内に溶岩ドームが形成され、成長しているのが確認されました。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

解析: 気象研究所

新燃岳周辺拡大図



火口湖が消滅し、溶岩ドーム(500m×550m)が形成されていることが確認できる。

図 2 霧島山(新燃岳) だいち衛星画像(JAXA)の解析結果

28日に東京大学地震研究所によって火口内に確認された直径数10mの溶岩ドームが、30日には直径500m程度の大きさに成長しました。

図1とは撮影方向が異なるため、見え方も異なって表現されます。